

病院、3大学、区役所

# 医療分野の人材育成へ

## 新組織設立 公開講座など計画

医療人材の育成を目的に、甲南病院などを経営する甲南会（東灘区向洋町中2）や、同区内にある3大学、同区役所が連携し、「東灘次世代医療人材育成コンソーシアム」を結成した。安定的な人材確保とともに、地域医療の課題にも取り組む。準備事務局の担当者は「近未来医療を生み出す基盤としたい」と力を込める。

（篠原拓真）

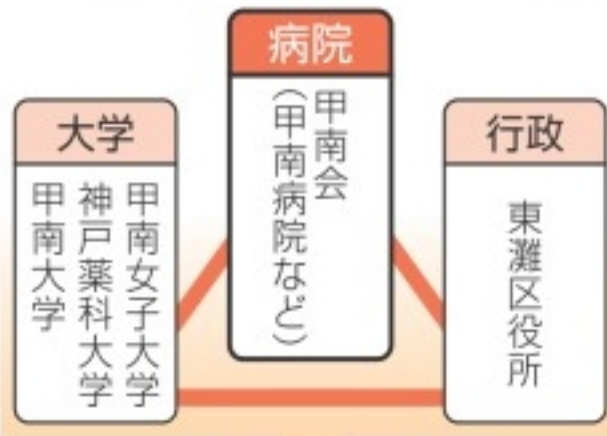
同区内で病院を経営する甲南会と、甲南女子大・甲南大・神戸薬科大の3大学、東灘区役所がコンソーシアム（連携組織）を結成した。

医療訴訟などの分野で協力していく。3大学に甲南会の医師を講師として派遣するなど人材交流を図り、同区役所は区民向け講座の後援や広報などを担うという。

甲南会は、甲南女子大や神戸薬科大といった医療系学部の学生らの臨床実習研修を受け入れ、甲南大とはアルツハイマー早期発見や

また、一般市民への公開講座や医療従事者などの学術研修会の企画も予定するほか、2カ月ごとに各団体

東灘次世代医療人材育成コンソーシアムと目的



- 講師派遣や学生の臨床実習を病院で受け入れる
- 医療研究のほか、ロボット活用などの分野で連携
- 合同で市民公開講座を開き、地域住民の健康増進
- 知恵や経験を集め、次世代の地域医療を提案



コンソーシアムの中核を担う甲南会の甲南病院Ⅱ 東灘区鴨子ヶ原1

コンソーシアム代表世話人で甲南病院の具英成院長は「東灘の知を集め、医療課題の解決を考えるプラットフォームにしたい。人材育成のモデルケースとともに、東灘版の地域包括医療の構築など、これからの地域医療の在り方を提案、発信できれば」と期待を込める。

同コンソーシアムの設立式典は17日に行われ、各団体が協定書に調印する。